

令和4年度 学力向上を図るための授業改善推進プラン

府中市立府中第一中学校

教科：美術科		
生徒の学習状況	1年	意欲的に学習に取り組み、一つひとつの課題に対して前向きな姿勢で、楽しもうとしている様子が見られる。
	2年	真面目に学習に取り組むことが出来ている。クラスによって程度の差はあるが、私語などをすることもなく、制作に打ち込んでいる。
	3年	評価のことを気にしている部分も大いにあるが、課題に対して正面から向き合い、良い作品を作ろうとする意欲が感じられる。
現状の課題	1年	基礎的な技能の部分で得意不得意の差が大きく、苦手意識を感じている生徒がいる。
	2年	与えられた課題に対しては真面目に取り組むことは出来ているが、自分なりに粘り強く工夫をこらすなどの姿勢が足りない。
	3年	難しいものに挑戦しようとする姿勢は感じられるが、発想や構想の部分での深まりが少ない。
具体的な改善のための方策	◎主体的、対話的で深い学びの視点から	
	1年	作品制作の振り返り等で、互いの作品を鑑賞する機会などを設け、他の生徒の良かった部分などを取り入れたり、苦手意識をもった生徒のを励ましたりする場面をつくっていく。
	2年	主体的に粘り強く制作に取り組むために、「ポスター」などのデザインのジャンルの学習の際に「ユーザー目線」などの視点を取り入れて相互に助言を与えられるようにしていく。
	3年	発想や構想を深めるために、「篆刻」や「自画像」などで、自分自身と深く向き合うような課題を与えていく。
	◎学びに向かう力等を育むための視点から	
	1年	「ベーシック」をテーマにしていることから、机間指導等の際に、生徒本人のオリジナリティのあるところを発見し、生徒本人の基本的な部分での良さを発見するための支援をする。
	2年	「クリエイティビティ」をテーマにしていることから、机間指導等の際に、生徒本人が表したい表現の幅を広げたり、深度を深めたりするような助言を行う。
	3年	「アイデンティティ」をテーマにしていることから、自分らしさとは何かという問いかけを重ね、自身がした表現や、自身がこだわりたいポイントを見つける手助けをする。